

2月定例会議会における議案に対する意見募集

No5 高度医療機能強化事業（3テスラMRI整備事業）について

今回の予算は、市立四日市病院において、より高画質での記録が可能となる3テスラMRI装置を導入し、質の高い医療の提供とMRI検査待ち時間の短縮を図ろうとするためのものです。今回の事業におけるご意見を募集致します。

1. 目的

高度急性期病院としての質の高い医療提供、MRI検査待ち時間を短縮するため、3テスラMRI（※）装置の購入と設置に伴う改修工事を実施する。

※ 3テスラMRIは、従来の1.5テスラMRIの2倍の静磁場強度を持っており、組織間のコントラストがより明瞭となる。特に、整形領域や乳がんなどの診断に有用な情報となる薄いスライス厚の画像等を高画質で記録することが可能になる。

MR I (Magnetic Resonance Imaging) 磁気共鳴画像とは、磁石と電波を利用し、いろいろな方向からの体の断面を正確に画像化する検査方法で、体から発生する弱い電波を受信し、コンピューターで電波の発信場所・量を把握することにより画像を作り出す。

「テスラ」とは磁束密度のことで、磁気の強さを表し、1平方センチメートルあたりにどれだけの磁力線が集まっているかを示す単位で、1テスラは10,000ガウスに相当する。この数字が大きいほど、磁力が強いことを意味する。

2. 内容

MR I 検査では、CT検査に比べて撮影の所要時間が長く、2週間から1か月程度の慢性的な予約待ちが発生しており、希望日に予約できない場合や3テスラMR I 検査が必要な場合は、近隣の他病院などに検査を依頼している。

急性期医療を提供する北勢地域の基幹病院として、早期に有用な診断情報を得るため、当該機器を導入する。

現在、平成30年度にかけて既設棟改修事業を実施しており、MR I 設置に伴う改修工事も併せて実施する。

3テスラMR I 装置購入費（1台）	180,000千円（企業債充当）
設置に伴う改修工事費等	90,400千円（自己財源充当）
（現在1.5テスラMR Iが3台（通常使用2台、ERでの救急用1台）稼働）	

3. 予算額	270,400千円	（財源内訳）	企業債	180,000千円
			自己財源	90,400千円



3テスラMR I 装置